

## 学長メッセージ

## 環境の文化が根付く大学

三重大学は、世界に誇れる環境先進大学を目指して、2020年度までに1990年度比で30%の二酸化炭素排出量を削減することを2009年に宣言をいたしました。そして、この宣言以降、学生と教職員が連携協力をし、スマートキャンパス実現を目指した様々な事業・活動が全学的レベルで実施され、2014年度にはすでに二酸化炭素排出量の33.5%（**原単位**）削減が達成されています。これは、キャンパスのエネルギー総合管理システムの活用、再生可能エネルギー（風力と太陽光）とガス**コージェネレーション**による発電、ピーク電力抑制と急激な出力変動の緩和のための**蓄エネシステム**の導入、学生・教職員が参加する全学的な省エネ活動への取り組み、そして先進的な環境教育・研究の実施等の事業活動が結実した成果です。今後もこれまでの活動を継続させつつ、最先端の技術導入と創意工夫を凝らした環境活動を推し進めていきます。

## 省エネ活動の方針と目標値

2016年からの6年間において、学生と教職員による全学的な環境活動と省エネ重点施設整備による省エネ活動により、エネルギー使用量を2015年度比でさらに6%削減するというより一層の取り組みを要する達成目標を設定しました。そのための戦略としては、**デシカント空調**、**低損失LED照明**、**廃熱を活用する吸収式冷凍機**など省エネ性の高い機器の優先運転、デマンド対策としての蓄電池設備放電量の増加等の**負荷状況に応じた各設備の運転効率の向上**、キャンパス内ネットワークとスマートメーターを活用して省エネ活動を誘導する情報の発信と可視化をさらに進めていくことを計画したいと思います。そして、学生、教職員は、自身で可能な日常生活における省エネ・節電行動を継続的に実施していきます。

## 自然豊かなグリーンキャンパスづくり

シーサイドに開かれた自然豊かな三重大学グリーンキャンパスづくりを進めていく基本となるキャンパスマスタープランを作成し公表しています。このプランに基づいて、学生・教職員が快適な環境で過ごすことのできるようなキャンパスの整備を実施していきます。自然豊かなクリーンで快適な環境づくりは、環境先進大学である三重大学の基本方針です。さらに、大学キャンパス内に止まらず、地域の皆さんとも協働して、自然豊かなクリーンで快適な地域づくりに努力をしていきます。

## 環境文化の熟成

環境先進大学である三重大学においては、学生と教職員が一体となった環境活動が10年にわたって継続して実施されてきています。そして、今や「環境」は、三重大学の大切な文化となりつつあります。「自然環境・もの・地域を大切にする」という基本的な理念を三重大学に真に根付かせるとともに、熟成された環境の文化を三重大学から地域、全国、そして世界へと発信していきます。

三重大学スマートキャンパスは、次世代エネルギー社会を見据えた革新的技術と全学参加型の省エネ・節電活動を両輪として推進されてきました。三重大学の環境活動の基盤となる**環境マネジメントシステム**を2006年にキックオフ宣言して以来、10年が経過し、環境教育、研究活動の一層の充実も図られており、まさに**環境の文化が根付く大学**としての基盤が形成されつつあります。

平成27年9月

三重大学長  
最高環境責任者

駒田美弘

